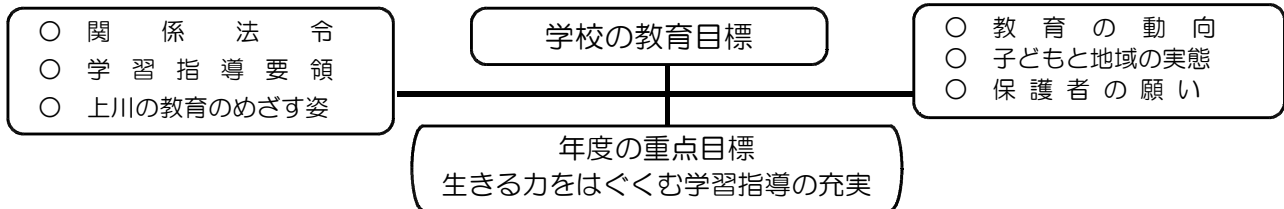


2 キャリア教育の全体計画を作成します。

キャリア教育の全体計画では、学校の教育目標や子どもの実態などから自校のキャリア教育の目標を設定するとともに、キャリア発達にかかわる諸能力の育成との関連を明確にし、各教科・領域等における指導の重点化を図ることが大切です。

○ キャリア教育の全体計画の例（中学校）



めざす生徒像 : 将来への希望を自らの手で見つけ出す生徒

キャリア教育の目標		
第1学年	第2学年	第3学年
将来の希望や夢をもち、進路に対する関心を高め、進んで自己の進路を計画しようとする態度を養う。	自己理解を深め、職業や上級学校に関する情報を理解し、進路の計画を検討し、実現しようとする態度を養う。	自己の能力や適性を確かめ、自分にふさわしい進路の実現のために向上していこうとする態度を養う。

本校のキャリア発達にかかわる能力				
	人間関係形成能力	情報活用能力	将来設計能力	意思決定能力
第1学年	コミュニケーションスキルの基礎を習得し、他者に配慮しながら積極的に人間関係を築こうとする。	働いている人々に直接触れ合うことにより、勤労の意義、働く人々の生き方や思いなどが分かる。	よりよい集団活動のための役割分担を行うとともに、自分の役割を自覚し責任をもって果たす。	よりよい生活や学習、生き方を目指して、自ら課題を見いだしていくことの大切さを知る。
第2学年	リーダーとフォロワーの立場を理解し、互いに支え合いながら仕事をする。	職場体験等で学んだ勤労の意義を係活動や委員会活動をはじめ、以後の学習で積極的に生かそうとする。	様々な職業の社会的役割や意義を理解し自己の生き方を考える。	学習計画を立てるなど、課題解決の見通しをもち、主体的に解決していこうとする。
第3学年	自分のよさや個性を理解し、他者のよさや感情を理解しながら共に高め合おうとする。	様々なメディアや自己の経験から、生き方や進路に関する情報を収集・整理し、職業や仕事を総合的にとらえようとする。	将来の進路希望に基づいて当面の進路計画を立てその達成に向けて努力する。	自己の個性や興味・関心等に基づいて、よりよい選択・決定を行おうとする。

各教科・領域等における指導の重点			
各教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
○関連する単元や題材の学習を通して、自己の生き方や職業への関心を高める。 ○社会や産業の変化に関する理解を通して進路を選択する力を身に付けさせる。	○集団の意義についての理解を深め、集団生活への適応を図るようにする。 ○勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもち、公共の福祉に努めるようにする。	○学級の組織づくりや係活動等を通して、社会や集団の一員としての生き方を考えさせる。 ○学業生活の充実及び将来の生き方と進路の適切な選択について考えさせる。	○学び方を身に付け、探究活動に主体的に取り組む態度を育みながら、自己の生き方を考えさせる。 ○ものづくりや生産活動等を通して働く意義を考えさせる。

キャリア教育の推進の基盤	○教職員の協働体制の確立 ○地域や企業との連携	○保護者への説明会 ○学校間の連携
--------------	----------------------------	----------------------